

協働

学校支援センターでは、例年、町田市の地域学校協働活動を周知することを目的として、コミュニティ・スクール 地域学校協働ニュース「協働」を発行します。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

4月 地域学校協働活動スタート

本年度の地域学校協働活動は、新規着任者12名を含む小学校70名、中学校31名、総勢101名のボランティアコーディネーター（VC）の支援によって推進されます。

そのスタートとなる2025年度『学校支援ボランティアコーディネーター説明会』が、4月23日（水）に、町田市庁舎



10階会議室で開催されました。まず初めに、来賓の町田市教育委員の関根美咲様から「児童・生徒の今の学び・経験が人生を変える。VCの活動は町田で育つ子どもたちの成長につながっています。」とのご挨拶をいただきました。

次に、指導課を代表し大山聡指導課長が挨拶しました。挨拶の中では、新たに任命されたVC、継続されるVC、地区統括VCの皆様に敬意を表しました。また、指導課職員の異動についての報告もありました。さらに、現行の学習指導要領の方向性の中で、「社会に開かれた教育課程」の実現として、社会と連携して学校教育を進めることの大切さについて述べました。その後、新規のVC一人ひとりに、大山指導課長から委嘱状の交付が行われました。引き続き、新井統括指導主事から、VCの皆様方に感謝の意が伝えられました。今年度、8月に学校管理職と学校運営協議会代表を対象としたCS研修会を企画していること、CS研修と連絡協議会の時間を設定することなど、学校運営協議会の機能が十分に発揮できる時間にしたいことを説明しました。

さらに、2025年度事業について、活動の意義・目的や進め方、事務処理手続きなどを中心に学校支援センターの宮島GVCから説明しました。指導課管理係太田担当係長からは、本年度の予算について説明しました。

続いて、FC町田ゼルビアのスタッフの方・環境政策課3R推進係から、学校訪問事業の説明と申し込み方法についての説明がありました。最後に生涯学習センターから「町田市生涯学習ボランティアバンク」の講師リストの使い方などの説明がありました。

第1回統括VCミーティングの開催

5月7日（水）町田市庁舎 10 階会議室で統括VCミーティングを開催しました。今年度は、新たに統括VCの任命があったため、統括VCの自己紹介から始まり、お互いに新たな発見と深い理解が得られた貴重な時間となりました。続いて、学校支援センター宮島GVCから、地区統括VCの役割（地区統括VCの手引き 2025 版）・地区統括VCM（年5回）・学校訪問（学校支援センター）・VC基礎研修、クロムブック研修・東京都地域学校協働活動推進委員会・中学校全体VCM（年2回）・学校支援連絡会（7月）・学校支援ボランティア感謝状贈呈式（10月）・地区ミーティング（年2回）・地区別クロムブック講習会（随時）・学校管理職、学運協会長を対象としたCS研修会の実施についての説明がありました。

今年度、注意する点として、教員が参加する「会議の時間」については、午後4時（長期休業中は午後4時30分）までに終了することの説明がありました。

情報交換の時間では、学校の現状の課題や学運協の取組方について様々な意見が出され全体で情報共有をしました。その中で、学運協について『学校の報告が多く、学校と地域とともに子どもを育てる話し合いが少ない』『スクールボードと活動が変わらない』『地域でどのような子どもを育てるのかについて、学校が育てたい子ども像について話せる場にしたい。』などの意見が出されました。

また、本年度は、1年間かけて「コーディネーター マイノート 町田版」の作成を進めることについて、宮島GVCより報告がありました。

VC基礎研修・クロムブック操作研修

主に1年目のVCを対象にした「学校支援ボランティアコーディネーター基礎研修」が5月14日（水）に町田市庁舎10階会議室で開催しました。受講者7名の参加のもと、講義と研修が進められました。

第1部では、宮島GVCから学校支援センター事業の概要や学校支援ボランティアコーディネーターの役割や活動についてスライドを使用した詳しい説明がありました。また、活動をより活性化するためのポイント、留意点についても触れました。



第2部は、活動に欠かせないクロムブックについて操作説明がありました。報告書作成などのVCの定型業務、想定される活動等について、学びました。

町田市教育委員会 学校教育部 指導課 学校支援センター

町田市森野 2-2-22 市庁舎 10 階

TEL：042-724-4069（直通） 042-722-3111（内線 5114）